

1 次の()にあてはまることばや数字、記号を書きなさい。

- (1) 同符号の2数の積は、()の積に()の符号をつける。
異符号の2数の積は、()の積に()の符号をつける。
- (2) いくつかの数の乗法では、負の数が奇数個あれば、絶対値の積に()の符号がつき、
負の数が偶数個あれば、絶対値の積に()の符号がつく。
- (3) $4 \times 4 \times 4$ を()とかいて、「4の()」と読む。
このように、同じ数をいくつかかけ合わせたものを、その数の()といい、いくつかかけ合わせたかを示す数を、
その()といいます。
- (4) 2数の積が1になるとき、一方を他方の数の()といいます。

2 次の計算をしなさい。

(1) $(-1)^2$ (3) $\left(-\frac{3}{4}\right)^2$ (7) $(-2)^3 \div (-4)^2$

(2) -3^2 (5) $-(-5)^2$ (8) $-5^2 \times (-1)^3$

(3) $(-4)^2$ (6) $(-6)^2 \div (-3^2)$ (9) $(-10)^2 \div (-2^2)$

3 次の計算をしなさい。

(1) $(-2) \times (-3) \times (-5)$ (3) $(-3) \times 8 \div (-2)$ (5) $\left(-\frac{4}{5}\right) \div \frac{2}{3} \times \left(-\frac{5}{6}\right)$

(2) $(-6) \div (-4) \times 2$ (4) $18 \div (-3) \div (-2)$ (6) $1.2 \div (-0.4) \times 0.5$